

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 10 ACTA UROLOGICA JAPONICA October 1984

# 泌尿器科紀要

第30巻 第10号 1984年10月

高尿酸素の副腎エピネフリン・ノルエピネフリン含量増加作用 —とくに高血圧自然発症ラットを中心として— (英文) .....	中田 瑛浩・ほか	1357
腎癌における腫瘍免疫の研究 —白血球粘着阻止試験の意義— .....	岡田 泰長	1367
腎細胞癌の Stage 診断 —術前評価と手術所見の比較検討— .....	三橋 公美・ほか	1379
尿路性器癌の肺転移に対する手術的治療の経験 .....	橋本 博・ほか	1387
腎盂尿管移行部狭窄に対する腎盂形成術の手術成績 —Anderson-Hynes pyeloplasty を中心に— .....	渡辺 秀次・ほか	1393
尿酸カルシウム結石患者における血中尿酸濃度について .....	保科 彰	1405
種々尿路疾患における尿中 Alanine Aminopeptidase 活性 (英文) .....	藤田 公生	1417
エタノール加ベプロマイシン灌流による膀胱癌温熱療法 .....	中嶋 和喜・ほか	1421
泌尿器系の重複癌 .....	杉山 高秀・ほか	1427
Ureaplasma urealyticum と精子に関する研究 —化学療法前・後における精子形態の比較— .....	岡田 弘・ほか	1433
男子不妊症に対するプロスタグランディン合成酵素阻害剤の効果 .....	布施 秀樹・ほか	1439
腎 oncocytoma の1例 .....	寛 善行・ほか	1447
馬蹄鉄腎に発生した高 Ca 血症を伴う AFP 産生腎細胞癌の1例 .....	岡田 弘・ほか	1453
Enhanced Computed Tomography による矮小腎の描出 異所開口尿管における腎の部位診断の経験 .....	川口 理作・ほか	1459
成人男子の異所性尿管瘤の1例 .....	小谷 俊一・ほか	1467
再発ミューラー管嚢胞の1例 .....	岩井 哲郎・ほか	1471
日本人男子にみられたビルハルツ住血吸虫症の1例 .....	鹿子木基二・ほか	1479
陰茎結核の1例 .....	上田 陽彦・ほか	1485
不妊を主訴とした papillary cystadenoma の1例 .....	笹川五十次・ほか	1489
原発性両側精細胞性率丸腫瘍の2例 .....	岡田 茂樹・ほか	1497
細菌性前立腺炎に対する ofloxacin の基礎的検討と臨床的評価 .....	鈴木 恵三・ほか	1505
複雑性尿路感染症に対する Ceftizoxime (CZX) の臨床効果 .....	高羽 津・ほか	1519

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
  - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田または山田・ほか:)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
  - (ロ) 英文抄録：本文とは別に標題、著者名、所属機関名、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷
 

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重	新谷 浩
吉田 修(主 幹)	